

# 第15回バイオフィリアリハビリテーション学会 講演のご案内 <http://jiritu.org/> 放送アドレス

## 在宅リハビリテーション推進のためのネットワーク構築研究



基調講演1: AM10:00より

**武藤佳恭**

慶應義塾大学環境情報学部教授

第15回バイオフィリアリハビリテーション学会大会長

## 加齢制御医学とバイオフィリアリハビリテーション



基調講演2: AM11:00より

**白澤卓二**

順天堂大学加齢制御医学教授

NPO法人バイオフィリアリハビリテーション学会会長

## 社会システムとしてのTERMINAL-STAGE



公開講座講演1: PM15:00より

**川合秀治**

わかこうかいクリニック院長(大阪府)

前(社)全国老人保健施設協会会長

## 世界におけるバイオフィリア・リハと団塊世代の未来



公開講座講演2: PM16:00より

**滝沢茂男**

文部科学省指定研究機関バイオフィリア研究所所長

国際バイオフィリアリハビリテーション学会理事長

# 第15回バイオフィリア リハビリテーション学会・研修会

**主催：特定非営利活動法人バイオフィリア リハビリテーション学会**

**共催：特定非営利活動法人高齢市民が活躍するための社会技術研究会**

## 後援：厚生労働省

神奈川県・藤沢市・藤沢市教育委員会・藤沢市社会福祉協議会  
財団法人テクノエイド協会・財団法人日本障害者リハビリテーション協会  
社団法人全国老人保健施設協会・社団法人日本理学療法士協会  
社団法人日本作業療法士協会・日本リハビリテーション工学協会  
日本生活支援工学会・日本経済新聞社

今大会はこれまでのリハビリテーション医学が更に21世紀型の学問に発展する為に、ITを用いて、在宅で実現するリハビリテーションを主眼に開催いたします。これからのリハビリテーション医学に必要な概念と思えます。

リハビリテーション医学は施設基準・配置基準による診療報酬システムを多年用いてきた。これは医学に求められる治癒を基準にしない考え方で、違和感を覚える医師も少なくなかったことは事実です。今般、これらの基準に加え、「回復度基準を用いる」との中央医療審議会の動きもあります。リハ医学に大きな転換・転機が訪れようとしていると多くの医療関係者が感じていると思われれます。

我々は多年、創動運動（器具を用い健側主導による両側同方向運動による患側受動（他動）運動）による、自律リハ手法を導入した施設の追跡研究を行ってきました。その結果、3割を超える寝たきり状態の患者（利用者）が歩行を再獲得するという成果を明らかにしてきました。この手法を在宅に取り入れることは非常に重要であると考えております。

本大会では、ITを用い、在宅で自律リハ施行を可能にしたい、また、脳機能のリハビリテーション医学への反映を明らかにしたいと考えております。

さらに、研修を通じ、自律リハ施行を責任をもって実施できる主体の育成を開始します。（対象：理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・医師・看護師・マッサージ師・介護関係者）

今回の学会はITを用い、医学領域の超越と融合を期する画期的なものとするべく努力を尽します。

**日程：学会 平成23年8月27日(土)、及び研修会 28日(日) 2日間**

**会場：慶應義塾大学(神奈川県藤沢市遠藤)**

学会・研修会は参加費必要です。詳細はWEB <http://Biophilia.info/>を参照してください。

学会(27日)

09:30~09:40 大会会長挨拶(武藤佳恭:慶應義塾大学環境情報学部教授)

09:45~09:55 学会会長挨拶(白澤卓二:バイオフィリア リハビリテーション学会 会長  
順天堂大学加齢制御医学講座教授)

10:00~11:00 基調講演Ⅰ 在宅リハビリテーション推進のためのネットワーク構築研究  
慶應義塾大学教授 武藤佳恭 (IT放送予定)

11:10~12:10 基調講演Ⅱ 加齢制御医学とバイオフィリアリハビリテーション  
順天堂大学教授 白澤卓二 (IT放送予定)

13:00-15:00 一般講演 8題

13:00-15:00 公開講座1 社会システムとしてのTERMINAL-STAGE

川合秀治 わかこうかいクリニック院長(大阪府)、前(社)全国老人保健施設協会会長

13:00-15:00 公開講座2 世界におけるバイオフィリア・リハと団塊世代の未来  
滝沢茂男 国際バイオフィリアリハビリテーション学会理事長

研修会(28日 9:00-15:00)

講師 木村哲彦(当会名誉会長) 滝沢恭子(当会名誉会長)

参加費に含むもの 教科書3冊(介護依存から自立へ1・2・寝たきり老人を歩かせる 計7,925円、ビデオ教材(体操及び実施方法) 2点合計32,000円 合計資料代39,925円を含む